

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	農業振興課 農業専門技術担当		
12				
※記入不要				
要望問題		促成イチゴの小苗の育苗方法の確立		
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】				
1、背景 促成栽培イチゴの省力化として、小型ポット育苗が普及し始めており、これらの苗でも慣行のポット（10.5cm、12cm）と同程度の収量を上げる栽培事例がみられる。 促成栽培面積 約40ha				
2、要望内容 主要三品種（とちおとめ、章姫、さちのか）について、小型ポット育苗における育苗日数と定植期の検討、経済性、労働性を評価を行う。				
解決希望年限	①1年以内	<input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内	③4～5年以内	④5～10年以内
研究対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応	②委託研究	③共同研究	④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター			

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所			
部 署：	生産技術部			
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施	<input checked="" type="checkbox"/> ②実施中	③継続検討	④実施済
試験研究課題名	①、②、④の場合 野菜のセル成型苗等育苗の安定生産技術の開発			
対応の内容等	H15年度に農総研の育成系統「KNS98-1」について、鉢受け方式（10.5cm）で育苗を行い、定植時期の検討を行っています。（9/1定植から9/20日定植まで） 同様に主要3品種（とちおとめ、章姫、さちのか）についても小形ポットを用い、定植時期、育苗日数の検討を行います。			
解決予定年限	①1年以内	<input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内	③4～5年以内	④5～10年以内
備考				